

2019 年度輔仁大学日本語文学科国際シンポジウム
「文化と災害」
プログラム

日 時：2019 年 11 月 16 日(土曜日)

場 所：輔仁大学徳芳外語大楼

09：30～10：00		受 付	
10：00～10：10		開 会 式 (徳芳外語大楼 5 階 FG507 孫志文神父記念講堂) 挨拶：劉 紀雯 (輔仁大学外国語学部学部長)	
10：10～11：00		基 調 講 演 (徳芳外語大楼 5 階 FG507 孫志文神父記念講堂) 講 演 者：押野 武志 (日本北海道大学教授) タイトル：災害とミステリ 司会：頼 振南 (輔仁大学教授)	
11：00～11：10		記念写真撮影	
11：10 12：05	11：10 11：15	FG507	
	第一セッション		
	座 長	黄 翠娥 (輔仁大学教授)	
	11：15 11：35	発表者：李 美淑 (韓国 SEOUL 大学校客員研究員) 災害を記憶する方法としての文学の可能性—韓国の歲月号(セウォルホ)遭難事件を中心に—	
	11：35 11：55	発表者：空井 伸一 (日本愛知大学教授) 無分別な「全体」—末木文美士「天罰」論批判—	
	11：55 12：05	質疑応答	
12：05～13：30		昼 食 (FG507)	
12：40～13：30		ポスター発表 一回目 (FG507)	
13：40 14：35	13：40 13：45	第一会場	第二会場
	FG202		FG204
	第二セッション		第三セッション
	座 長	楊 錦昌 (輔仁大学教授)	小針 浩樹 (輔仁大学副教授)
	13：45 14：05	発表者：中村 祥子 (輔仁大学副教授) 中古の記録に見る予兆としての怪異と災害—伴善男の怨霊を中心に—	発表者：松永 稔也 (東海大学助理教授) 台湾・日本における地震防災情報と災害時避難場所揭示の多言語化について—よりよい情報発信のための研究の第一歩として—
	14：05 14：25	発表者：陳 文瑤 (大葉大学副教授) 『水鏡』の仏教闘争について	発表者：横路 啓子 (輔仁大学教授) 台湾における東日本大震災報道をめぐって—『聯合報』を中心に—
14：25 14：35	質疑応答	質疑応答	
14：40 15：35	14：40 14：45	第一会場	第二会場
	FG202		FG204
	第四セッション		第五セッション
	座 長	彭 春陽 (淡江大学副教授)	王 玉玲 (世新大学副教授)

	14:45 15:05	発表者：黄 翠娥 (輔仁大学教授) 川端康成と関東大震災	発表者：馮 寶珠 (輔仁大学副教授) 複合動詞「災害を乗り越える」に関する 一考察
	15:05 15:25	質疑応答 (15:05-15:15)	発表者：横路 明夫 (輔仁大学副教授) 終末ものの系譜に関する一考察—— 『風の谷のナウシカ』その他——
	15:25 15:35		質疑応答
15:35~16:05 ティー・ブレイク ポスター発表 二回目 (FG507)			
	16:10 16:15	第一会場 FG202 第六セッション	第二会場 FG204 第七セッション
	座長	押野 武志 (北海道大学教授)	張 蓉蓓 (輔仁大学助理教授)
16:10 17:05	16:15 16:35	発表者：曾 秋桂 (淡江大学教授) AIのデータマイニング技術による日本 原発文学研究への支援—『それでも三月 は、また』を例にして—	発表者：坂元 さおり (輔仁大学副教授) かわぐちかいじ『太陽の黙示録』試論 —「近未来の三国志を日本列島分断後 のアジアを舞台」に描くこと—
	16:35 16:55	発表者：范 淑文 (台湾大学教授) 作家に語られる311及びその文化——川 上弘美と多和田葉子を中心に	発表者：沈 美雪 (天理大学外国語学科/ 中国文化大学副教授) 今よみがえる二つの『どろろ』—手塚 治虫原作マンガと2019年版リメイク TVアニメ
	16:55 17:05	質疑応答	質疑応答
17:05~17:10 会場へ移動			
	17:10~17:20	閉会式 挨拶：許 孟蓉 (輔仁大学日本語文学科副教授兼学科長)	(徳芳外語大樓2階FG202室)
	17:20~17:30	懇親会会場へ移動	
	17:30~19:30	懇親会 (徳芳外語大樓5階FG507 孫志文神父紀念講堂)	
ポスター発表 ①12:40~13:30 ②15:35~16:05 (徳芳外語大樓5階FG507)			
発表者① 朱 容瑩 (輔仁大学大学院生) テーマ：さだまさし研究—「案山子」における家庭観を中心に 発表者② 林 聖峰 (輔仁大学大学院生) テーマ：日本語教育観点から見たオノマトペコーパス調査と練習帳の作成を中心に— 発表者③ 洪 紋蔚 (輔仁大学大学院生) テーマ：宮沢賢治研究—「星」はどのように描かれるか— 発表者④ 李 哲宇 (輔仁大学大学院生) テーマ：文化面から文化保存と都市再生を見る—「大手町・丸の内・有楽町地区再開発計画」と「西区門 戸計画」を中心に— 発表者⑤ 周 佳陵 (台湾大学大学院生) テーマ：芥川龍之介の芸術観—生涯における芸術に関わる作品を中心に—			
主催 輔仁大学日本語文学科 協賛 科技部、輔仁大学研究発展処、教育部、輔仁大学外国語学部			
基調講演：50分 論文発表：20分・質疑応答：5分			